

船乗りさんをZoom UP

LOOK

見て見て
聞いて聞いて
船新聞②
6年(船特別) 藤崎 小穂のか

船乗り



みんなの生活を支える

私のおじいちゃんも、船乗りでした。おじいちゃんに、船乗りについてインタビューしてみました。

まず、主な役職とその仕事内容について説明します。

役職	仕事内容
航海士	船の操縦、航路の決定、航海図の管理
機関士	船のエンジン、各種機器の保守など
司厨士	乗組員の食事を作る、食材管理など
その他	専門に合わせた職業

ちなみに、私のおじいちゃんは今、航海士として働いていますが、以前は機関士として働いていました。その経験が、今の仕事に活かされています。

そんな船乗りについて、もっと詳しくみていきましょう。

船乗りの人が主に

すること、言われること

まず乗船して言われるのは、お疲れ様です。練習しても船種によって、危険箇所は異なります。

そして、航海中の「航海士(見張り)」という仕事があり、三交代制で一人が四時間×二行います。

船乗りになって

いいこと、よくないこと

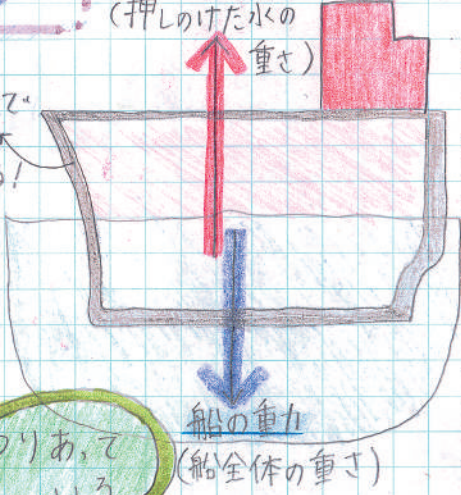
GOOD

・壮大な自然を感じられる。
・いろんな所に行ける。
・乗り物のスケールが大きい。
・お金がかせげる。
・長期休暇。
・しみにぼんとうでできる。

BAD

・生活が不規則。
・労働時間が長い。
・危険が伴う。
・家に帰れない。
・彼女ができない。
・逃げ場がない。

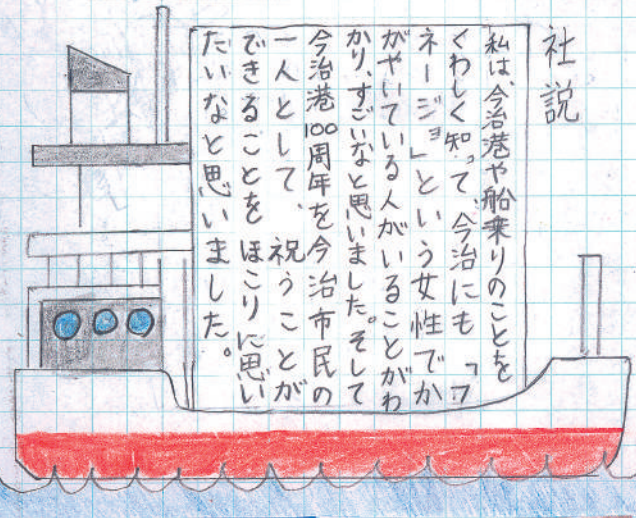
浮力



以外と気にしない船の秘密
話を聞いていろいろうちこ、私は、鉄でできた船が水に浮くのはなぜだろうかとおもい調べました。

船は鉄でつくられるから、鉄板を組むのが大変です。でも、鉄板の間に空気を入れることで、全体の重さを減らすことができます。これが浮力の原理です。

社説
私は、今治港や船乗りのことをくわしく知って、今治にも「ネーショ」という女性ばかりやっている人がいることがわかり、すごいなと思いました。そして、今治港100周年を今治市民の一人として、祝うことができるとおもいました。



↑ 今治港の一部

↑ 2016年にオープンしたみなと交流センター